

様々な分野で活躍する 医系技官出身者

様々な分野で活躍している医系技官出身者をご紹介します。

新型コロナから新しい「国づくり」へ

世界保健機関西太平洋地域事務局長

葛西 健 KASAI Takeshi



Dr. Takeshi Kasai, WHO Regional Director for the Western Pacific visits the Khoksilay Health Center in Xaithany District.

新型コロナウイルス感染症は、社会の様々な課題を浮かび上がらせました。明らかになった課題を克服し、いかにより良い未来を作れるか。世界の見本になるような「国づくり」のチャンスです。そして、その経験を積んだ皆さんの活躍の場は、日本を超えて世界に広がっているはずです。

平成2年 岩手県/県庁、高次救急センター、宮古保健 所
平成6年 厚生省/厚生科学課、統計情報部
平成7年 ロンドン大学衛生熱帯医学院
平成9年 厚生省保健医療局結核感染症課国際感染症専門官
平成12年 世界保健機関西太平洋地域事務局感染症対策医官
平成15年 厚生労働省大臣官房国際課長補佐
平成16年 宮崎県福祉保健部次長
平成18年 世界保健機関西太平洋地域事務局感染症対策課長
平成23年 世界保健機関西太平洋地域事務局健康危機管理部長
平成24年 世界保健機関ベトナム代表
平成26年 世界保健機関西太平洋地域事務局次長・事業統括部長
令和元年 現職

厚生行政と公衆衛生は基礎と臨床のような関係です

薬剤耐性菌を含む健康危機管理は、2018年に私が選挙活動していた際に加盟国から取り組んで欲しいとされた4つの「未来課題」の一つでした。その未来が向こうから駆け足でやってきました。2003年のSARSの震源地となったこの地域では、15年以上かけて準備してきた課題です。2019年の年末は、家族とともに一時帰国していましたが、元旦にはマニラに戻り、それ以来地域の15の国事務所のスタッフと共に、これまで培ってきた経験と知見を総動員して新型コロナ感染症対策にあたっています。それでも、様々な課題に直面しました。感染症対策は、判断と決断の連続です。その判断と決断には、科学的根拠に基づく判断と、それを踏まえた決断が必要です。新しい感染症では、その判断と決断を十分な情報がないなかで行わなければなりません。科学と政治の関係も課題になりました。決断によっては、人々の生活や社会経済に大きな影響をもたらすものもあります。逆に、社会環境が対策の有効性に影響を与える場面もありました。新型コロナ感染症は、健康と社会

と経済が密接な関係にあることを改めて人々に認識させました。それは、まさに公衆衛生の原点です。特に急速に経済発展を遂げている新興国において外国人労働者、へき地に住む少数民族、貧困者が居住する衛生環境がよくない地区など社会の様々な弱点についてきました。医療体制の課題も明らかにしています。感染症が国境を超え、そして世界がつながっているなか各国の課題は、世界の課題でもあり解決にはより一層の国際的な連携が必要なことを明らかにしました。

厚生行政と公衆衛生は基礎と臨床のような関係です

「未来は予測できないが、創ることができる」という賢人の言葉があります。これからの未来は、今まで以上に早く複雑で予測が困難です。一方で、今日の行動が明日を変えるという定理は不変です。新型コロナパンデミックで浮かび上がった様々な課題を、コロナの先を見据え新しい未来を作るための機会にできないでしょうか。私が、厚生省で勤務していた時に多くの先輩から、「国づくり」という言葉を聞いたのを覚えています。夢と情熱をもつ

て未来のために働いていた先輩、同僚や後輩の顔が今も浮かびます。私は、そこで多くの感化を受け経験も積みました。WHOの仕事も、各国の「国づくり」のお手伝いです。私は地域事務局長に就任してから、「For the Future (未来に向けて)」という西太平洋地域の政策ビジョンを出しました。そのビジョンに基づき加盟国とともに健康を軸としたSDGsの推進と、より安全で健康な地域を目指しています。その大切な土台になるのが、すべての人が必要なときに質の高い医療に経済的な困窮に陥ることなく享受できるユニバーサルヘルスカバレッジ(UHC)です。結核対策等を通じUHCを早い時期に確立した日本はこの分野の国際的なリーダーとして認知されています。また、世界は、日本の高齢者対策の経験にも高い関心があります。新型コロナ感染症は、先進国である日本でも取り組まなければいけない課題があることを示しました。その課題に真摯に取り組んだとき、日本はコロナ渦を契機として新しい未来を作った国として、世界の見本になるはずです。そして、その仕事に携わった方々の活躍の場は世界に広がっているはずです。将来皆様と一緒に仕事ができることを楽しみにしています。